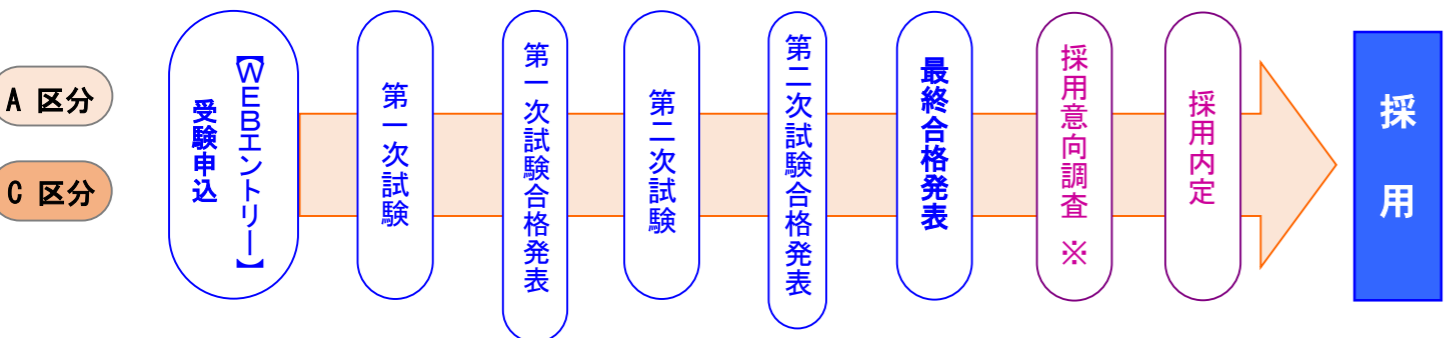


# 採用試験の概要

試験	A区分 (22~30歳)	試験	C区分 (31~59歳) (民間企業等経験5年以上)	受験資格
申込	◆1回目：5月上旬~5月中旬 ◆2回目：8月中旬~8月下旬 ●試験日：1回目 6月中旬 2回目 9月下旬	申込	◆8月上旬~8月中旬 ●試験日：9月下旬	左の表に示した年齢や職務経験のほか、それぞれの試験区分で以下の要件を満たす必要があります。
第一次	○職務基礎力試験【択一式による筆記試験】 社会事情、文章理解、長文解読、言葉の用法、 数的理解、論理的理解、資料理解 ○専門試験【択一式による筆記試験】 水産事情・水産経済・水産法規、水産環境科学、 水産生物学、水産資源学、漁業学、増養殖学、 水産化学、水産利用学 ○適性検査 ◆第1次合格発表：1回目 6月下旬 2回目 10月中旬	第一次	○専門試験【択一式による筆記試験】 資源管理、増養殖、水産経営・流通、漁場環境保全 ○適性検査 ◆第1次合格発表：10月中旬	※普及職員（水産）A 大学（短期大学を除く）若しくは水産大学校において水産業、生物、化学、食品製造、機械、電気、機関、電気通信、経済若しくは経営に関する正規の課程を修めて卒業した方または2025年3月31日までに卒業見込みの方
第二次	●試験日：1回目 7月上旬~7月中旬 2回目 10月下旬 ○人物試験 個別面接	第二次	●試験日：11月上旬 ○人物試験 個別面接	※普及職員（水産）C 大学（短期大学を除く）若しくは水産大学校において水産業、生物、化学、食品製造、機械、電気、機関、電気通信、経済若しくは経営に関する正規の課程を修めて卒業した方または2025年3月31日までに卒業見込みの方又は水産業普及指導員資格を有している方若しくは水産業普及指導員資格試験の受験資格を有している方
合格発表	◆1回目：7月下旬 ◆2回目：11月下旬	合格発表	◆12月中旬	

※ 試験日程や受験資格等の詳細は、人事委員会のHPをご確認下さい

## 採用試験までの流れ



※ A区分合格者は、大学院進学を希望する場合、採用を延長(最大2年度)することができます。

## 給与・勤務条件等

初任給	A区分：大学新卒（196,200円） C区分：民間経験（例：31歳で職務経験9年の場合 257,500円 ※学歴や経歴を基に決定。）
諸手当	期末手当・勤勉手当、通勤手当、住居手当、扶養手当、寒冷地手当など
年休	1年に20日間（4/1新規採用の年は15日間）、20日を限度に翌年に繰り越すことができます。
住宅	職員住宅、独身寮が整備されています。

## 水産業普及指導員の資格について

- 大学新卒の場合、普及職員として採用され、水産技術普及指導所で2年間の実務経験を積んだ後、国家資格である水産業普及指導員の受験資格を得られます。
- 水産業普及指導員の資格を取得すると、普及指導手当（給料月額12%）が支給されます。

お問い合わせ先

◆ 職員採用試験に関すること  
北海道人事委員会事務局任用課  
札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館11階  
電話：011-204-5654

◆ 普及職員(水産)の仕事に関すること  
北海道水産林務部成長産業課普及指導員  
札幌市中央区北3条西6丁目 道庁本館11階  
電話：011-206-6081

▶ ホームページは [北海道水産業改良普及事業](#) 検索

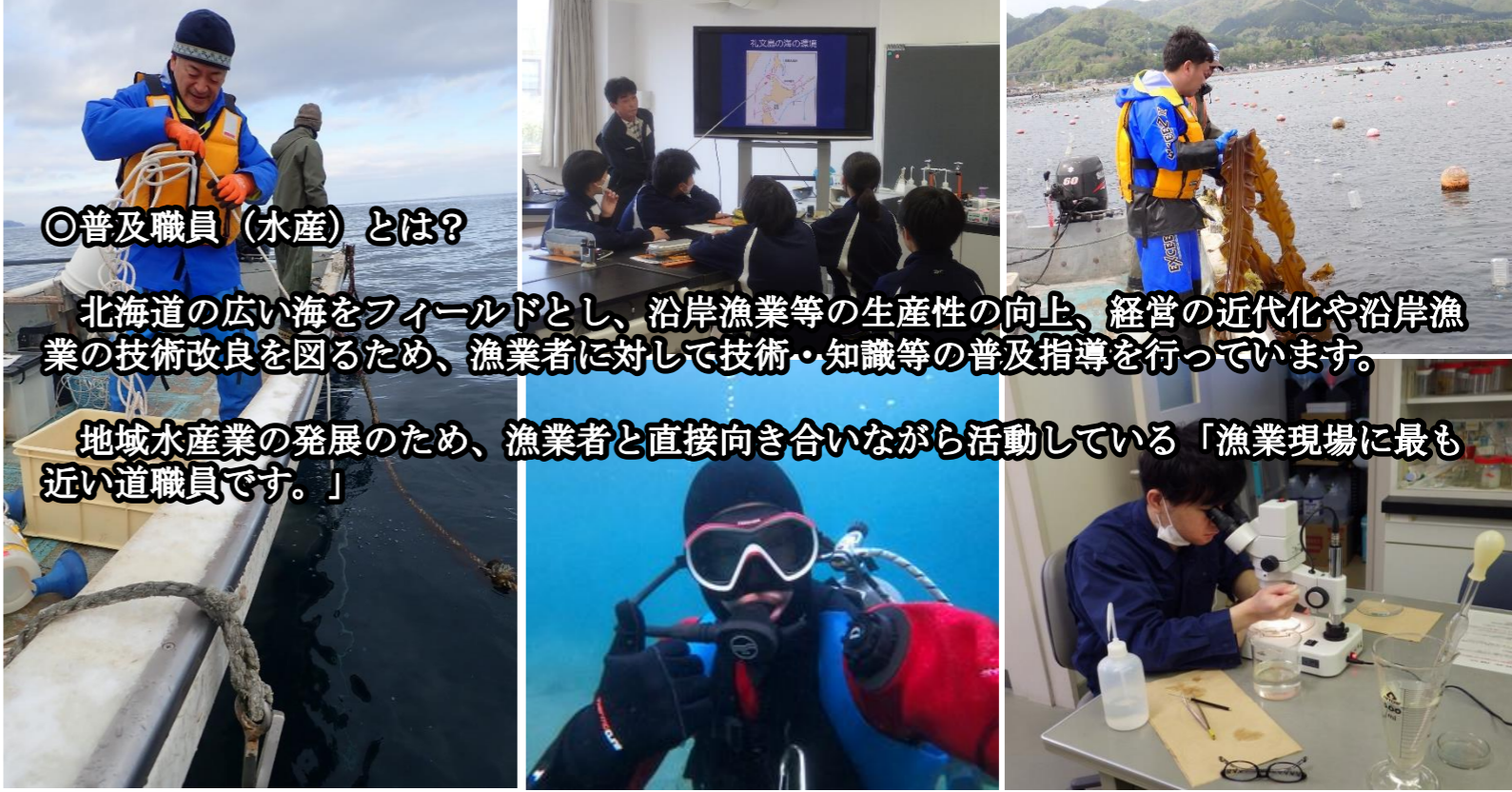
こちらへアクセス

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

# 北海道



水産技術普及指導所のインスタアカウントを開設しました。  
アカウント名：Info 北海道水産指導所



北海道 水産林務部

# 指導所の所在地



水産林務部成長産業課

総合振興局・振興局

首席普及指導員 1名  
主任普及指導員 1名

- 普及活動の統括管理
- 施策の企画立案参画

総括普及指導員 6名  
主任普及指導員 6名

- 海域内の普及活動の統括管理・広域課題

水産技術普及指導所  
設置数 24箇所  
(本所14+支所10)

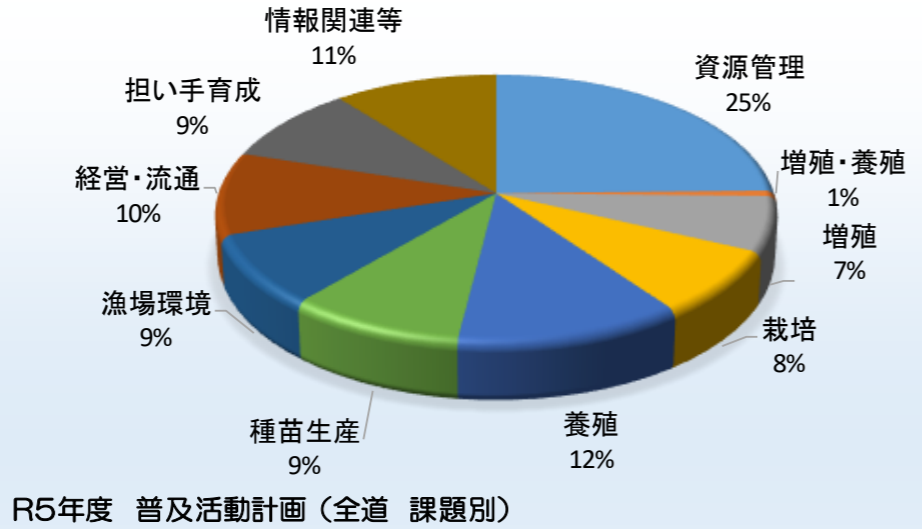
- 普及活動計画の決定
- 指導所の運営管理
- 研究成果等の普及指導
- 地域振興政策の支援

各指導所に在勤

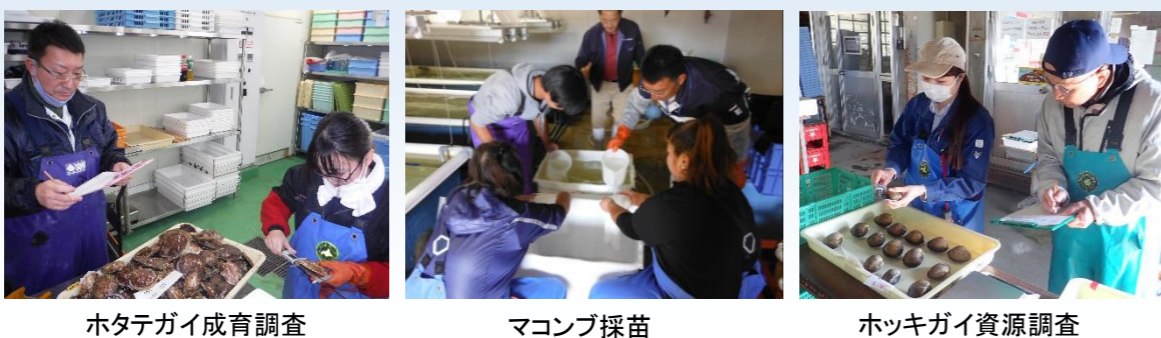
北海道では、沿岸を6海域に区分し沿海24カ所（本所・支所の合計）に水産技術普及指導所を配置しています。  
 広い北海道では、海域によって漁業対象の魚種が異なりますが、普及指導員はそれらに対応し、地域に根ざした普及活動を行っています。  
 ※郡部にも職場があり、概ね3～5年ごとに異動（転勤）があります。

# 全道の活動課題

水産技術普及指導所では、毎年、魚種や内容別に普及活動計画を作成しています。  
 課題別では、資源管理、増殖や養殖に関する課題が多くなっています。



その他、漁場環境や担い手育成など様々な活動があり、自分の得意分野で活躍できます。



# 先輩職員から・・・

令和2年度採用  
 釧路総合振興局釧路地区水産技術普及指導所  
 普及指導員 朝倉 健



## 普及員を目指した理由（きっかけ）

就職活動を通して、大学では海洋環境や生物に関することを学んでいたため、その知識を生かせる仕事に就きたいと考えていました。その中で、水産普及職員の存在を知り、学んだ知識を生かせること、そして、水産業のプロとして最前線で仕事ができることに魅力を感じ、普及員になることを目指しました。

## 業務内容

私の業務はホッキガイやアサリ、ホッカイベの資源調査や、その結果を基にした効果的な資源管理手法の提案と技術指導を漁協や漁業者に行っています。また、令和3年9月に道東太平洋海域に突如発生し大きな被害をもたらした有害赤潮モニタリング調査も担当しています。水温、塩分、クロロフィル量の測定や海水のサンプリングなどを行い、研究機関と連携をとりながら赤潮の発生を監視しています。

〈経歴〉  
 R2.4.1 釧路総合振興局  
 釧路地区水産技術普及指導所  
 (所在地:厚岸町)

## 普及員を目指す方々へ

普及職員を目指すところは水産業の発展です。その目標を達成するためには、専門的な知識や技術はもちろん、コミュニケーション能力も必要になってきます。ただ、最初から全て出来る必要はありません。支えてくれる仲間や先輩はたくさんいます。また、普及業務は多岐に渡るので、自分の得意なことや強みを生かせる場所は必ずあります。北海道という広大なフィールドと一緒に水産業発展のために頑張らしましょう!!

令和3年度採用  
 日高振興局日高地区水産技術普及指導所  
 普及職員 軽部 有夏



## 普及員を目指した理由（きっかけ）

道内の水産に関係し、現場に携わる仕事を探していた際に普及員について大学から紹介されました。水産業に間近に関わることができ、地域に根ざした仕事ができる魅力ある職だと感じ、普及員を目指しました。

## 業務内容

ナマコの増殖に関する業務を担当しています。ナマコの採卵から生産した種苗の放流、放流した種苗の追跡調査などを漁業者や漁協、町の担当職員と一緒にしています。また海洋環境のモニタリングも担当しており、得られたデータを取りまとめて水温情報として漁協や町といった関係機関へ情報提供しています。  
 その他にも日高地区水産指導所ではコンブやホッキガイ、マツカワやケガニといった魚種を対象とした業務や、担い手育成に関する業務等があります。

〈経歴〉  
 R3.4.1 日高振興局  
 日高地区水産技術普及指導所  
 (所在地:浦河町)

## 休日の過ごし方

車で近隣の都市部への遠出や買い物に行くこと、勤務地の浦河町にある道内最古の映画館「大黒座」に映画を見に行くことが多いです。馬産地である日高の競馬にも興味があり町内の施設でのレース観戦もよくしています。